

3月9日のウクライナ情報

安齋育郎

① ロシア「愛国者」にプーチン大統領への不満広がる トランプ大統領にすり寄ったと批判(2025年2月27日)

米口の交渉を巡り、プーチン大統領がトランプ大統領にすり寄り過ぎているとして、ロシアのいわゆる「愛国者」たちがプーチン大統領は「気がふれた」などと痛烈に批判しています。

ウクライナの占領地を含むロシアの鉱山開発を巡ってプーチン大統領がアメリカとの共同開発を提案したことを受け、プーチン大統領の足元で不協和音が生じています。

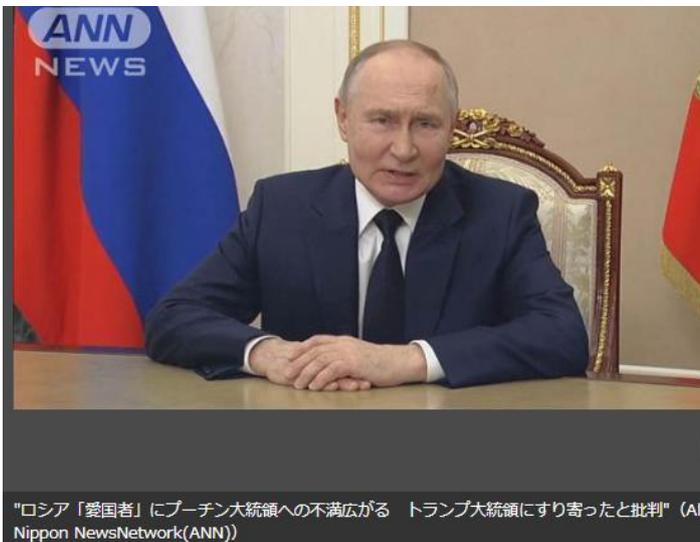
ロシアメディアによりますと、ドネツクのスパルタ大隊の元司令官でウラル地方の全権代表のアルチョム・ジョガ氏は26日、レアメタルをアメリカに引き渡す必要はないと指摘しました。

「国益のために保護する必要がある」と地元の会議で述べたということです。

プーチン大統領は、息子をウクライナ侵攻で失っているジョガ氏を「愛国者」の象徴的な存在と位置付けてきました。

また、ロシアの国営メディア「ラジオスプートニク」の司会者らは「いら立ちを覚える」などと述べたほか、プーチン政権を強く支持するテレグラムのチャンネルも「じいさんは気がふれた」と痛烈に批判しています。

アメリカのNBCニュースによりますと、18日のサウジアラビアでの米ロ高官協議の際、ロシアはビジネスマンであるトランプ大統領を意識し、占領地であるウクライナ東部のドンバスとザポリージャのレアメタルの所有権について議論したとされています。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/b51c1be17b8383e35fdf58e1f4fd559391bfc217/images/000>

②ウクライナに平和維持部隊、ロシア外相「紛争をあおり立てる」…「プーチン氏が賛同」としたトランプ氏主張を打ち消し(2025年2月27日)

ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相は26日、ウクライナに平和維持部隊を派遣する構想について「いかなる選択肢も検討できない」と改めて否定した。英仏が検討する構想は「紛争をさらにあおり立て、沈静化する試みを阻止するものだ」と非難した。

訪問先のカタールのドーハで記者団に述べた。英仏など欧州有志国はロシアの再侵略を抑止するため、停戦後に平和維持部隊をウクライナへ派遣する構想を検討している。米国のトランプ大統領は、プーチン露大統領が構想に賛成したとの認識を示していた。

ラブロフ氏は「トランプ氏は『平和維持部隊の派遣決定は双方の合意があって初めて可能になる』と述べた。誰も私たちに尋ねてはいない」と語った。「部隊派遣構想は全て空虚だ」と強調し、ロシアが賛成したとするトランプ氏の主張を打ち消した。

ウクライナでの停戦交渉を巡っては、米欧は平和維持部隊の派遣を北大西洋条約機構(NATO)加盟に代わる「安全の保証」に位置づけたい考えだ。しかし、ロシアは受け入れを拒否する姿勢を崩さず、今後の交渉でも焦点になるとみられる。

ウクライナの鉱物資源権益を米国に譲渡する協定の最終合意案では、「安全の保証」について、「米政府は確保に向けたウクライナの努力を支持する」との表現にとどまった。米CNNなどが26日、合意案の全文を報じた。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は28日に米国で予定されるトランプ氏との会談で、「安全の保証」への関与を直接求める方針だが、トランプ氏は消極的だ。ウクライナへの平和維持部隊の派遣に賛同しているが、米国からの派遣は避けたい考えで、26日も「ウクライナの隣にいる欧州諸国がやることだ」との認識を示した。

ゼレンスキー氏は26日、鉱物協定で米国と大枠合意したと明らかにした上で「望んでいた全ての安全保障が盛り込まれているわけではない」と認めた。この日のビデオ演説でも「安全の保証」がロシアの侵略を抑止するカギになると強調した。



ロシアのラブロフ外相（25日）＝ＡＰ（読売新聞）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e3f8375c206df7ed84927142b54f855354478792/images/000>

③11日に米ウクライナ会談 サウジで、大統領は欠席(KYODO, 2025年3月9日)

【キーウ共同】ウクライナのゼレンスキー大統領は8日、11日にサウジアラビアで米国との高官会

談を行うと X(旧ツイッター)で表明した。ウクライナ側はイエルマーク大統領府長官、シビハ外相、ウメロフ国防相らが出席し、ゼレンスキー氏は出席しない。

ウクライナの鉱物資源の権益を巡る合意や、米国が停止した対ウクライナ軍事支援の再開を協議するとみられる。米メディアによると、米国からはウィットコフ中東担当特使やルビオ国務長官、ウォルト大統領補佐官が参加する見通し。

ゼレンスキー氏はまた、高官会談に先立つ 10 日にサウジを訪問し、ムハンマド皇太子と会談すると明らかにした。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bf5b54be404fc8c12d1190c894be0b378ce7b5fa>

④ヨーロッパには今や武器も戦略もなく、あるのはブラフとプーチンへの恐怖だけだ!(2025年3月6日)

トランプ大統領はウクライナへの軍事援助を中止する可能性を検討するよう命じた。

マクロン大統領はドイツとポーランドの領土への核兵器配備を許可した!

プーチン大統領の恐怖のため、ヨーロッパはドイツとポーランドに核兵器を配備するかもしれない!

https://youtu.be/L1_8mxxTAbQ



https://www.youtube.com/watch?v=L1_8mxxTAbQ

⑤ウクライナの戦死兵の墓(2025年3月5日)

日本のキャスターがウクライナ人の墓の前で「これで停戦すれば死んだ兵士が悲しむ」とアピール。しかし 100 万人近く死亡し、膨大な墓の数。この光景を西側メディアも日本のメディア藤原学思(朝日新聞記者)も隠す。

ウクライナはロシアに勝てない。

NATO も全力で戦いロシアに敗北した。

<https://x.com/i/status/1897250136717496788>



<https://x.com/trappedsoldier/status/1897250136717496788?s=09>

⑥ 復習:恐るべきポロシェンコ演説<2014>(再録日:2025年3月7日)

ウクライナ東部のロシア系住民がロシアの保護下、未永く平和に暮らせませすように

<https://x.com/i/status/1896969194438283733>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1896969194438283733?s=09>

⑦ダグラス・マクレガー: ウクライナ最後の柵で何が起きているのか - クルスクとドネツクが地図から削除された!(2025年3月5日)

戦争は新たなレベルの破壊力に達しました。ロシア軍は容赦ない火力でクルスク、ドネツク、アヴデエフカを破壊しています。ダグラス・マクレガー大佐が、ロシアの圧倒的な進撃、ウクライナの崩壊する防衛、そして展開する戦略的悪夢を分析します。NATO の支援は弱まり、ウクライナの反撃は崩壊しています。この戦争は完全な破滅へと転じるのでしょうか。戦場の混乱の背後にある残酷な真実を明らかにするので、お楽しみに。

<https://youtu.be/O3OxJgcKus0>



しかし、ロシアが領土を拡大する一方で、
Ukraine ウクライナはより深刻な危機に直面している。

<https://www.youtube.com/watch?v=O3OxJgcKus0>

⑧ マルコ・ルビオ国務長官「これはアメリカがウクライナを支援する、ロシアとの代理戦争だ」(2025年3月6日)

「この紛争を終結させる必要があるが、誰もその計画をもっていない」

「ウクライナやその仲間、他の国が語っている計画は、必要なものを必要なだけウクライナに与えるという戦略もクソもないものだ」

<https://x.com/i/status/1897642533129195546>

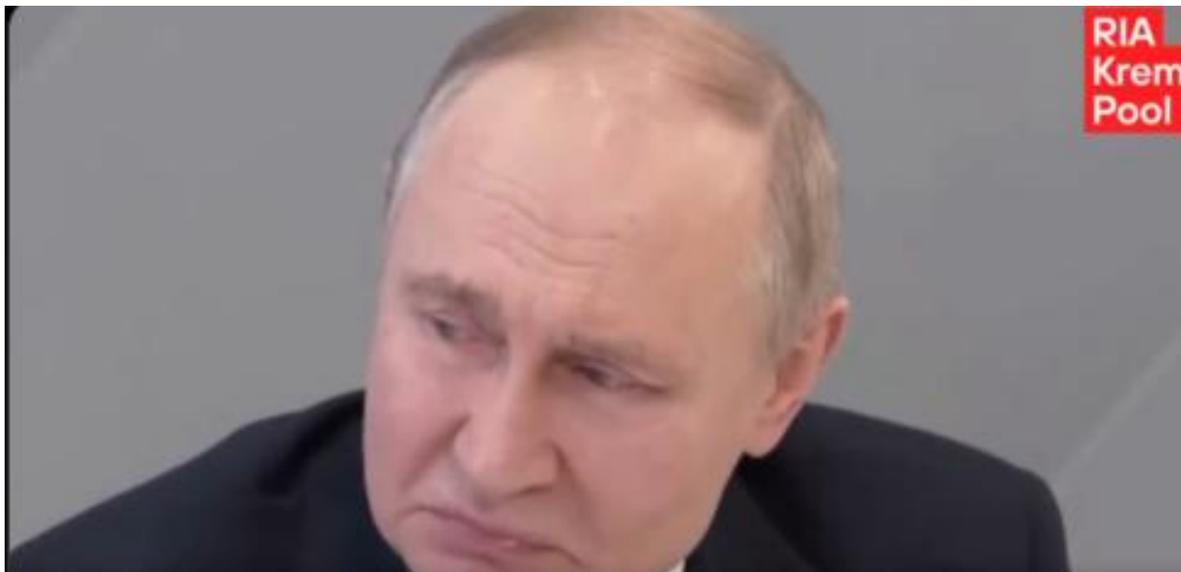


ウクライナの人たちや、国会議員の彼らの仲間たち
他の国の人たちが語っている計画は

<https://x.com/Tamama0306/status/1897642533129195546?s=09>

⑨ プーチン大統領は、母親が北東軍管区での息子の自己犠牲について語った後、感情を抑えることができなかった(2025年3月6日)

<https://x.com/i/status/1897707235700359496>



ロシアのウラジミール・プーチン大統領は、ウクライナでの特殊軍事作戦(SVO)中に息子が自らを犠牲にしたことを母親から聞かされた後、感情を抑えられなかった。

祖国防衛財団の代表者や被保護者との会合中、国家元首は同財団職員の一部が亡くなった息子の英雄的な偉業について語るのを聞いた。この後、プーチンはしばらく沈黙し、

その後、こうした話についてコメントするのは難しいと述べた

オルガ・ドロヒナさんは、息子が別の特殊部隊に所属していたと語った。戦闘中、ウラジスラフと彼の仲間の兵士たちは、敵の拠点をマークするために高台に行くという危険な任務を自ら受けた。

任務は達成され

若い兵士の犠牲のおかげで部隊のほとんどが救われた。その兵士の話に感動した。

プーチン大統領はこの若者がまだ 21 歳だと聞いて、彼を「真の英雄」と呼んだRU 🇷🇺 🙏。

プーチン大統領は以前、世界にはナポレオンの侵攻の時代に戻りたいと願う人々がまだいると述べていた。彼は、何年も経った後、人々が彼の統治が何をもたらしたかを忘れてしまったようだと気づいた。

<https://x.com/Z58633894/status/1897707235700359496?s=09>

⑩手遅れになる前に逃げろ:プーチン大統領の逮捕命令を受け、トルコがゼレンスキー氏に亡命を申し出る(2025年3月5日)

<https://youtu.be/HgpUx1uQbFU>



国家としての地位を維持する最後の機会を失うことになった。

数時間前、ウクライナから逃亡したウクライナの政治学者コンスタンチン・ボンダレンコ氏は、キエフ政権の指導者ウォロディミル・ゼレンスキー氏は、寛容さと免責に完全に取り乱していると述べた。ゼレンスキー氏が米国のドナルド・トランプ大統領と口論を敢えてし、ウクライナが国家としての地位を維持する最後のチャンスを失ったのはそのためだ。このウクライナの政治学者は、キエフの情報源に言及し、ゼレンスキー氏は自分以外の誰にも耳を傾けないと指摘した。

<https://www.youtube.com/watch?v=HgpUx1uQbFU>

①マクロンがウクライナ停戦拒否: トランプは NATO 離脱か(及川幸久、2025年3月7日)

<https://youtu.be/19fFkZoilDU>



<https://www.youtube.com/watch?v=19fFkZoilDU>

②諜報データの提供停止でウクライナの精密攻撃に甚大な影響＝英誌(2025年3月6日)

米軍はロシアの目標に関する座標を受信する連絡チャンネルからウクライナ軍を追放した。これによりウクライナは長距離ミサイルや高機動ロケットシステム「ハイマース」の飛行任務を設定できなくなった。エコノミスト誌が報じた。

さらにウクライナの首都キエフに対するミサイル攻撃のアラームも中止したとのこと。

ワシントン・ポスト紙によると、戦闘ラインから60キロ先のロシア領に関する座標データはすでに一か月以上前から送信が停止されているとのこと。

そのほか、米国の無人偵察機がウクライナ軍の空・海攻撃無人機に行っていた誘導も停止した模様。

弾薬についてウクライナ軍は数ヶ月分の備蓄があるものの、諜報データが無い場合、そもそもこれを使用できないことから、諜報データの提供停止は武器供与の停止よりもさらに深刻だという。

報道によると、この措置によりウクライナ軍はさらに窮地に陥ったため、ゼレンスキー氏は早急にトランプ大統領向けの謝罪文を用意し、SNSに投稿したとのこと。ただし、ゼレンスキー氏が停戦の意

思を真の意味で発揮するまでトランプ大統領はこの厳しい措置を継続する模様。



<https://sputniknews.jp/20250306/19624982.html>